

第2回 埼玉県中央地域渋滞ボトルネック検討WG
議事概要

1. 日 時 平成27年6月1日(月) 10:00~11:00
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館 15階 災害業務室1
3. 出席者
 - 真田 晃宏 (関東地方整備局 大宮国道事務所長) [座長]
 - 稲垣 孝 (関東地方整備局 北首都国道事務所長)
 - 篠田 宗純 (関東地方整備局 道路部 道路計画第一課長)
 - 松山 隆雄 (関東地方整備局 道路部 道路計画第二課長)
 - 久保 尚也 (関東地方整備局 道路部 計画調整課長)
 - 近藤 雅弘 (関東地方整備局 企画部 広域計画課長)
 - 杉田 年男(代) (埼玉県警察本部 交通部 交通規制課交通管制センター長)
 - 中村 一之 (埼玉県 県土整備部 道路政策課長)
 - 清水 勇 (さいたま市 建設局土木部 道路計画課長)
 - 千葉 隆仁 (東日本高速道路(株) 関東支社 総合企画部 総合企画課長)
 - 邊見 次夫 (東日本高速道路(株) 関東支社 所沢管理事務所長)
 - 上田 功 (東日本高速道路(株) 関東支社 さいたま工事事務所長)
 - 横山 克人 (首都高速道路(株) 計画・環境部 調査役)
 - 松村 俊雄(代) (首都高速道路(株) 計画・環境部 計画調整課長)
 - 瀬本 浩史 (首都高速道路(株) 計画・環境部 渋滞対策課長)
4. 議 事
 - (1) 挨拶
 - ・ 関東地方整備局 大宮国道事務所長
 - (2) 審議
 - ・ 埼玉県中央地域の渋滞の要因など

<委員からの主な意見等>

■埼玉県中央地域の渋滞の要因などについて

- ・（渋滞の要因については）中央地域の渋滞の実態を反映できていると思う。
- ・長トリップ交通に占める大型混入率やODの確認ができると良い。
- ・容量不足が、渋滞の主な要因であることは間違いないが、集中する時間帯なども考慮すべきではないか。また、対策の検討にあたっては、長トリップ交通の対策のみでなく、中短トリップ交通に対する検討も進めるべき。
- ・首都高 大宮線が適切に使われているかも考慮すべきではないか。
- ・長いトリップの交通が、市道等に流れ込んでいる。東西方向は圏央道である程度カバーできると考えられるが、南北方向の長トリップ交通は何とかならなければならないと思う。
- ・現在事業中箇所については、ネットワーク対策なのか、局所対策なのかを整理すべき。その上で、対策実施に伴う様々な影響についても、整理した方が良い。

以 上